

皮膚を刺激する素材(ウールやテクテクする素材)の衣服や寝具は避けましょう。アトピー性皮膚炎の乳児では、母親がウールの衣服を着ていると、抱っこしているときに顔をこすりつけるので、顔の皮膚炎が悪化してしまいます。最近では、綿100%の肌に優しい保湿に優れた衣類や寝具なども手ごろな値段で売っています。また、下着の縫い目もこすれてかゆい時があります。このような場合、裏返して着るといいでしょう。



ウールやテクテクする素材

鉄フタロシアニンテトラカルボン酸で染色した繊維の下着(フタロシアニン下着)には、皮膚のかゆみを軽くする効果のあることが知られています。この繊維には、多くのアトピー性皮膚炎患者さんが過敏性を示す汗の成分(アレルゲン)を除去する作用もあることがわかりました。また、予備的な調査では、アトピー性皮膚炎の皮膚症状は17名中13名で、かゆみは18名中11名で軽くなりました。アトピー性皮膚炎の患者さんは、汗をかく時期にこの下着を着ることで、かゆみをやわらげることができる可能性があります。

## 洗濯剤

洗濯剤成分が衣類にできるだけ残らないようにしっかりとすすぎましょう。最近の洗濯機は節水型が多いため、1回に洗濯する量を減らしたり、すすぎ回数を増やすのがいいでしょう。粉末洗濯剤とくらべて液体洗濯剤は溶け残りがなく安心です。また、洗濯によりダメージを受けた衣類が皮膚を刺激することもあります。

最近、特にすすぎ性を向上させて繊維に残りにくく、かつ洗浄力が高いことをうたっている液体洗濯剤や、衣類の傷みを低減し、皮膚と衣類の摩擦を抑える効果のある柔軟剤(ケアベール洗濯剤・柔軟剤)が市販されました。これらを使用すると、洗濯剤が残りにくく、衣類の感触が良くなって、かゆみや皮膚の乾燥がやわらぐ患者さんもいるようです。

このように、毎日の洗濯を工夫することも、症状の軽減や治療の補助として役に立ち、快適な生活を送る一助になります。

[▲ページトップへ](#)

[<< 前のページへ](#)

[次のページへ >>](#)

厚生労働省科学研究費研究班(平成17~19年度)「アトピー性皮膚炎の症状の制御および治療法の普及に関する研究」作成

Copyright(c)2006 kyushu University, Graduate School of Medical Sciences, Department of Dermatology. All Rights Reserved.